

2019年8月27日（火）昆虫標本教室

【学習会の内容】

フラワーパーク江南で昆虫などを採取・観察し、生き物の成り立ちなどを学びます。

作った標本は、持ち帰ることができますので、家で観察しながら楽しむこともできます。



【学習会の様子】

NPO法人トンボと水辺環境研究所の川口先生・宮田先生により、フラワーパーク江南のような自然に恵まれた場所の大切さを伝えると同時に、『自然を保護する』のはどういうことなのか、という話を聞いています。

その後、バッタやトンボを捕まえました。

バッタを捕まえ、足をもって振り子のようにして遊ぶことができると聞き、みんな実際に挑戦してみると「初めて知った」「面白い」と歓声があがりました。

「捕まえて『鑑賞』するのではなく、『観察』することが大切」

「動物のなにに似ているか」とか小さなことでもいいので自分だけの発見ができるようになると、ますます昆虫採集が楽しくなると、川口先生の子供の頃の経験談を交えて話されていました。

※フラワーパーク江南では、昆虫等の採取は禁止されています。

今回は、許可を得て採集し、その後は自然へとかえしています。



標本づくり開始です。

初めて標本づくりをする子も多く、針を持つ手が定まりません。

少しずつ慣れてくると羽をだしてみたり、触覚の形を整えたりと、みんな格好良くつくるために工夫していました。

（※標本に使用している昆虫は、講座のために購入したものです。）

標本にした昆虫は管理をすれば一生鑑賞できると聞き、真剣に保管方法を聞いていました。

また、現在飼っている昆虫たちも寿命を終えた後、標本にすることで思い出に残すことができるので、ぜひ自宅でも標本づくり挑戦してみてください。